【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成16年10月14日(2004.10.14)

【公開番号】特開2001-157721(P2001-157721A)
【公開日】平成13年6月12日(2001.6.12)
【出願番号】特願平11-343377
【国際特許分類第７版】
　Ａ６２Ｃ　35/58
　Ａ６２Ｃ　37/08
　Ｆ１６Ｌ　 1/00
【ＦＩ】
　Ａ６２Ｃ　35/58
　Ａ６２Ｃ　37/08
　Ｆ１６Ｌ　 1/00　　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月30日(2003.9.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の泡ヘッドが接続され、火災時に泡水溶液が送水される消火用配管を有し、該消火用配管を樹脂管で構成したことを特徴とする消火設備。
【請求項２】
基端側に一斉開放弁が接続され、他方の側に複数の感知ヘッドが接続されて常時充水された感知ヘッド用配管を有し、該感知ヘッド用配管を樹脂管で構成したことを特徴とする請求項１記載の消火設備。
【請求項３】
天井材から吊り下げられた消火用配管に可撓性を有する枝管によって、前記泡ヘッドを接続し、天井材から吊り下げられた感知ヘッド用配管に可撓性を有する枝管によって、前記感知ヘッドを接続し、前記泡ヘッドと感知ヘッドを天井材から垂下した取付部材に取付けたことを特徴とする請求項１記載の消火設備。
【請求項４】
泡ヘッドと感知ヘッドを、天井材から垂下した同じ取付部材に取付けたことを特徴とする請求項３記載の消火設備。
【請求項５】
泡ヘッドが接続され火災時に泡水溶液が送水される消火用配管、感知ヘッドが接続され常時充水された感知ヘッド用配管及び前記消火用配管と泡ヘッドを接続する枝管を剛性を有する樹脂管で構成し、前記感知ヘッド用配管と感知ヘッドを可撓性を有する枝管で接続したことを特徴とする消火設備。
【請求項６】
可撓性を有する枝管を、樹脂管で構成したことを特徴とする請求項３、４又は５のいずれかに記載の消火設備。
【請求項７】
基端側に一斉開放弁が接続され、他方の側に複数の感知ヘッドが接続されて常時充水された感知ヘッド用配管を有し、該感知ヘッド用配管と前記感知ヘッドを可撓性を有する枝管

で接続したことを特徴とする消火設備。
【請求項８】
消火設備に使用される樹脂製の配管と、天井スラブに固定された吊り金具に取り付けられる軽量材とを備え、該軽量材内に、長手方向にわたって前記樹脂製の配管を設けたことを特徴とする消火設備。